

環境に係る情報協議会

国営土地改良事業 美瑛川下流地区

1. 環境に対する考え方

《農村環境の現状と課題》 (旭川市「田園環境整備マスタープラン」より)

【現状】

旭川市は、石狩川・牛朱別川・忠別川・美瑛川の四大河川を中心とする大小の河川が数多く流れており、これらの河川は市内を取り巻く緑豊かな丘陵地や大規模な公園、緑地などとともに緑の骨格を形成している。

また、河川とその周辺の自然は、生態系を考える上で貴重なビオトープでもあり、広大な河川敷地は重要な都市空間ともなっている。

【課題】

多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と、市街地周辺に広がる農地の保全を推進する必要がある。

《環境保全の基本的考え方》 (旭川市「田園環境整備マスタープラン」より)

- ・多様な生物が生息・生育する水辺を保全するとともに、豊かな自然と調和した水辺の創造と、市街地周辺に広がる農地の保全を推進。
- ・都市と農村の交流や定住化を促進する場、新たな文化や産業活動を創造する場など、様々な機能をもった地域づくりを目指す。
- ・緑豊かな旭川市の景観の一つである美しい田園風景の広がりや四季の豊かさは、環境面からの存在価値を再認識することが必要。

2. 環境配慮計画の策定に向けた調査

《基本方針》

○調査位置の考え方

本地区の整備対象施設はダムと用水路に区分される。

その整備内容が環境へ与える影響に着目して、調査位置を「ダム改修エリア」と「用水路改修エリア」に区分し、それぞれの環境区分において調査位置を設定した。

○調査項目の考え方

原則として既往調査結果を活用するが、本事業で想定している整備によって、生息・生育環境に直接影響を与えることが想定されるとともに、各区域において既往調査が不足している「鳥類、両生類・は虫類、昆虫類、植物、水質」については、現地調査を実施する。

《環境調査内容》

- | | |
|-------|--------------------------|
| ○調査項目 | ①鳥類 ②両生・は虫類 ③昆虫類 ④植物 ⑤水質 |
| ○調査方法 | 鳥 類：ラインセンサス法、ポイントセンサス法 |
| | 両生・は虫類：捕獲調査、目撃法 |
| | 昆 虫 類：任意採集法、目撃法 |
| | 植 物：植物相調査 |
| | 水 質：SS、濁度 |